

『駒澤社会学研究』

執筆要項

1. 原稿の作成と提出
 - a. 原稿は原則としてマイクロソフト・ワード形式で作成し、データのファイルを編集委員会が決定した方法で提出する（他の形式で作成する場合はご相談ください）。
 - b. 論文の長さは、図表や注を含め、20,000字以内とする（これを超過する場合は、編集委員会の同意を得れば認められる）。
 - c. 原稿は、横書き、MS 明朝体、36 字×30 行の書式のワードファイルで提出する。本文に図表を入れるとともに、図表のデータファイル(Excel 等)も別途、提出して下さい。印刷会社にて作図等が必要な場合は、編集委員会に連絡すること。
2. 見出しの形式
 - a. 論文の邦文タイトル（中央寄せ、文字サイズ 12 ポイント）、1 行空けて英文タイトル(中央寄せ、文字サイズ 10.5 ポイント)、2 行空けて執筆者氏名(右寄せ、文字サイズ 10.5 ポイント)、改行して執筆者氏名のアルファベット表記（右寄せ、文字サイズ 10.5 ポイント）という順番で表記すること。（以下がイメージ）

世代間移動と地位達成
— 子ども期の社会的要因と教育の影響 —

Intergenerational Mobility and Status Attainment : Influences of Childhood
Social Factors and Education
2 行あける (10.5p)

駒澤 太郎
Tarō KOMAZAWA

要約
10 ポイントで記載
300 字～600 字程度

Keywords : 社会階層、社会移動、教育
social class, social mobility, education
1 行あける (10.5 p)

Corresponding Author: Taro KOMAZAWA,
Department of Sociology, Komazawa University
Email: tarok@komazawa-u.com
2 行以上、空ける（本文改ページ可）

1. 問題の所在 (10.5 p、太字 Bold)

- b. 要約の下に1行空けて、論文検索用のキーワードをつけること（左寄せ、文字10ポイント）。英文キーワードを併記してもよい。そのあと、下に2行の空白行をいれて、本文を開始する。本文開始は改ページしてもよい。
- c. 1枚目の下部に著者連絡先をいれてもよい（見本例）。
- d. 論文の章と節、項は左寄せとし、太字（Bold）で表記する。章の見出しはアラビア数字で番号を振り、節の見出しは括弧付きのあるアラビア数字とする。項はアラビア数字に右側のみ括弧をつけるとする。（以下がイメージ）

1. 問題の所在

○×○×○× …。

※1行空ける

2. 地位達成に関する先行研究

※1行空ける

(1) 家庭背景と地位の再生産

○×○× …。

1) 教育アスピレーション

○×○× …

2) 文化資本

○×○× …

※1行空ける

(2) 非認知的能力の影響

○×○× …

3. 図表について

図表には「図1 タイトル」「表1 タイトル」のように通し番号とタイトルをつける。タイトルの位置は、表タイトルは表の上中央、図タイトルは図の下中央につけるようにする。

4. 本文中の引用について

- a. 文中の引用先の表示は、(著者, 発表年: ページ) とする。なお、ページの表記は必要がなければ省略してよい。
- b. 新聞記事や執筆者不明の雑誌記事、およびインターネットの URL から引用した場合は、本文中に括弧で出典を表示する。
 - ◎新聞記事の場合は（『新聞名』, 刊行年月日朝夕刊の種別、第○面）。
 - ◎雑誌記事の場合は（『雑誌名』, 刊行年号数: ページ）。
 - ◎インターネットの URL の場合は、(ホームページ主宰者名, URL, アクセス日)。

5. 注について

- a. 注は、文中では番号を振って示し、文末にまとめて示す。
- b. 注の文字ポイントは 10 ポイントとし、行間を適宜縮め、本文と区別して示す。

6. 文末の参考文献リストについて

- a. 文中で言及した参考文献は、すべて文末の参考文献リストに挙げる。
- b. 参考文献リストの文字ポイントは 10 ポイントとし、行間は縮め、注の行間に準ずる。

c. 文献表示の方法については、以下のとおりとする。

◎著書の場合は、(著者名, 刊行年, 『書名』 出版社名.)

※欧語著書の場合は、書名をイタリック体にし、中国語著書の場合は〈…〉で書名を囲む。翻訳書の場合は、邦文と原著両方のデータを示す。

◎雑誌論文の場合は (著者名, 刊行年, 「論文名」『掲載雑誌名』 巻数と号数: 開始ページ - 終了ページ.)

※欧語論文の場合、論文名は“…”で示し、雑誌名はイタリック体で示す。中国語論文は、“…”で論文名を示し、〈…〉で雑誌名を示す。翻訳論文の場合は、邦文と原文両方のデータを示す)。

◎著書収録論文の場合は (著者名, 発行年, 「章のタイトル」, 編者名, 『書名』 出版社名: 開始ページ - 終了ページ.)

※ほかの言語に関する提示は、「雑誌論文の場合」に準ずる。

- d. 文献の掲載順序は、原則的には著者名のアルファベット順に配列する。欧語文献(アルファベット順)と邦語文献(五十音順), 中国語文献(アルファベット順)に分けて配列してもよい。

- e. 同一の著者の著作を複数掲載する場合には、二つ目からの著者名をハイフンで代用し、刊行年順に掲載する。同一著者による同一刊行年の著作が複数ある場合には、1996a, 1996b などと列挙する。

- f. 一つの文献表示が複数行にわたる場合は、二行目以降を何文字か下げて表示する。

文献 (例)

Beck, U., Giddens, A. & Lash, S., 1994, *Reflexive Modernization*, Stanford University Press.

Derrida, J., 1994, *Specters of Marx*, Routledge.

Giddens, A. ed., 2001, *Sociology: Introductory Readings*, Blackwell.

Granovetter, M.S., 1985, "Economic Action and Social Structure: The Problem of Embeddedness," *American Journal of Sociology*, 91 (3):1-17.

佐藤嘉倫, 2009, 「現代日本の流動性と格差」, 『社会学評論』 59(4):632-647.

庄司興吉, 1999, 「世界社会の構造と主体－国際社会学の展開のために」, 庄司興吉編, 『世界社会と社会運動』 梓出版社.

富永健一他, 1998, 『モビリティ社会への展望』 慶応義塾大学出版会.

Weber, M., 1920=1989, *Die Protestantische Ethik und der 《Geist》 des Kapitalismus*, 大塚久雄
訳 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 岩波文庫.

山田信行, 1996, 『労使関係の歴史社会学』 ミネルヴァ書房.

———, 1998, 『階級・国家・世界システム』 ミネルヴァ書房.

以 上